

## 平成19年度 子母口こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	子母口こども文化センターの管理運営に関すること 久末小学校・子母口小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども文化センターにおいては運営協議会やこども会議にて利用者のニーズ把握に努めるとともに、団体利用を含む館の利用者へ直接声をかける等も積極的に行なった。わくわくプラザにおいてはこども会議や保護者懇談会を定期的開催して利用者ニーズの把握を行ないました。また、こ文・わくわくプラザともに意見箱を設置して利用者の声を聴きました。	指定管理者以前からの事業者として、継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用やアンケートの実施等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	誰もが気楽に楽しみに参加できる行事の企画をしました。広範囲な地域を対象とした行事による仲間作りを促進しました。運営協議会を定期的に開催して、意見・情報交換を密にして地域の要望を聴き、サービスを提供しました。集団・個別に行事を企画し、障害児親子が気軽に参加できるように配慮しました。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、1つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。

事業の実施に関する こと	事業計画に基づき地域ボランティアの活用や運営協議会・こども会と協働しセンター祭りをを行い、378人の参加を得ました。また、地域の特性を活かした特色のある事業としてさんま祭りを自治会と共催して、地域の拠点としての役割を果たせるように積極的に関わりました。子育て支援関係機関と連携して、地域における子育て支援の拠点としての役割を積極的に果たしました。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後、ボランティアの活用に努めること。
個人情報取扱に関する こと	かわさき市民活動センターの個人情報保護方針に基づき実施しました。利用目的を特定し本人の同意を得た場合、その利用目的の範囲内で取り扱いました。ファイルに閉じ、関係者以外の目に触れないように保管しました。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	災害時の対応として年2回の避難訓練を行ないました。利用者の安全を守り、定期的に夜間のパトロールを強化しました。地域内の消防署や警察署との情報交換を密に行い、問題があれば運営協議会にも伝え、情報の共有化をしました。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。定期的に夜間のパトロールの強化したことは評価できる。また、久末小学校・子母口小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 26,922人 延べ団体利用数 8,106団体 (主な行事等) イラスト センターまつり  (特色のある行事) ダンスステージ	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 久末小学校わくわくプラザ 登録者数 408人 延べ利用者数 20,764人 (主な行事等) ビデオ鑑賞 夏祭り  (特色のある行事) 野菜作り・花を育てる  2 子母口小学校わくわくプラザ 登録者数 455人 延べ利用者数 22,799人 (主な行事等) 手づくりおやつ おつかれさま会  (特色のある行事) 出前ゴミスクール	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																																	
(3) 収支状況																																			
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>56,258,838</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>42,863,386</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,954,530</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回精算に伴う返納金</td> <td>5,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>55,777,750</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>481,088</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	56,258,838	支出	人件費	42,863,386		管理費	2,954,530		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		第2回精算に伴う返納金	5,000,000		合計	55,777,750		差引	481,088	事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入	指定管理料	56,258,838																																	
支出	人件費	42,863,386																																	
	管理費	2,954,530																																	
	事務経費	1,937,847																																	
	その他経費	1,436,042																																	
	青少年事業資産取得支出	909,090																																	
	減価償却引当資産取得支出	40,492																																	
	第1回精算に伴う返納金	636,363																																	
	第2回精算に伴う返納金	5,000,000																																	
	合計	55,777,750																																	
	差引	481,088																																	

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。